

4-4 .食品企業生産性向上フォーラムについて②



会員登録状況

1月29日までの登録実績

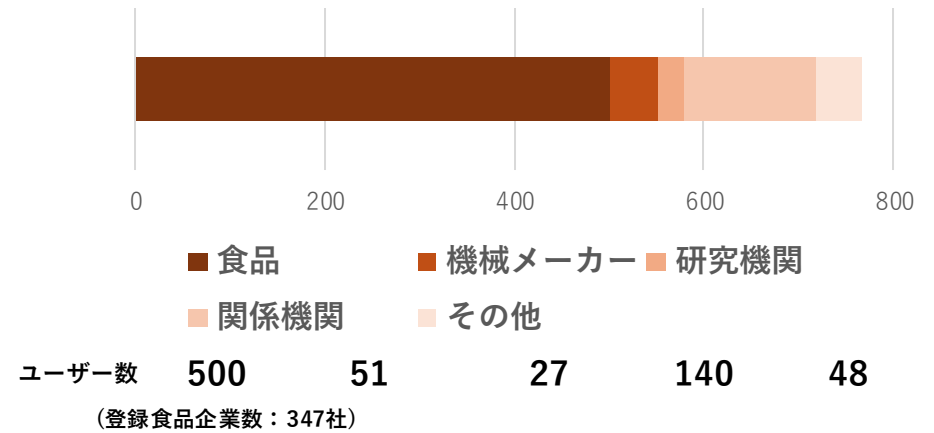
会員登録数推移

ユーザー数(人)

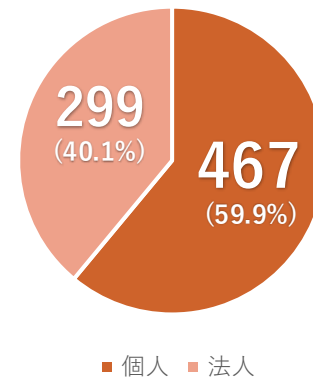
766



会員内訳



会員種別



4-5. 業種横断型プロジェクト実証支援事業

【令和7年度補正予算額 90,000千円】

○ 省力化等生産性向上に資する新たな技術の開発に向けて、食品事業者及び機械メーカー等が連携して行うプロジェクトを支援します。

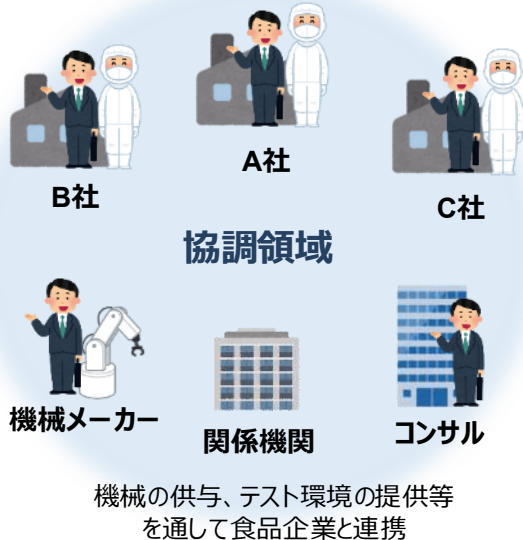
事業イメージ

業界共通の
技術的な課題

業種横断型プロジェクト
の実施

食品業界全体
の課題解決

課題を共有する食品企業間で連携



様々な業種で活用
可能な技術・製品の
開発



個々の
技術開発力
には限界

企業間連携により
開発・実証を加速

業界全体へ
成果を横展開

事業概要

公募期間

令和7年12月16日（火）
～令和8年1月16日（金）

対象者

- **食品企業**
(機械メーカー等との共同申請を含む)
- **食品企業、機械メーカー、関係団体等**を構成員とする**コンソーシアム**
(定款、組織規程の作成等が必要)

補助上限

90,000千円（補助率1/2以内）

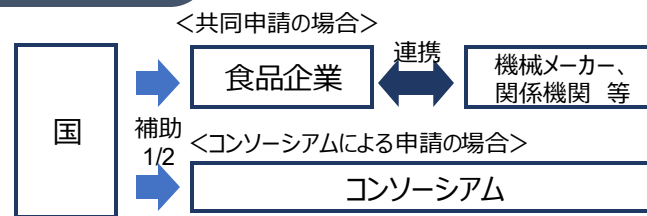
対象経費

プロジェクトの実施に必要な機械設備の導入及び改良費、謝金、旅費、需用費、貸借料及び使用料、委託費、人件費

【補助対象とならない取組例】

単なる自社の自動化のための機械導入

申請スキーム



お問い合わせ先

食品製造課 原材料調達・品質管理改善室 省力化推進チーム
TEL : 03-6744-2089 E-mail : kaizen@maff.go.jp

注1 : 応募者全体の申請内容を考慮して審査を行うため、必ずしも申請額全額が補助額となるわけではありません。

注2 : 詳細については、本事業に係る公募要領をご確認ください。

4-6. 「生産設備データ標準化コンソーシアム」について

- 食品製造現場における**生産設備データ**の仕様や規格を**標準化**し、**業界全体の生産性向上・品質向上**を促進するため、**味の素(株)**など**大手食品企業**を中心とする「**生産設備データ標準化コンソーシアム**」が発足。

コンソーシアム設立の背景

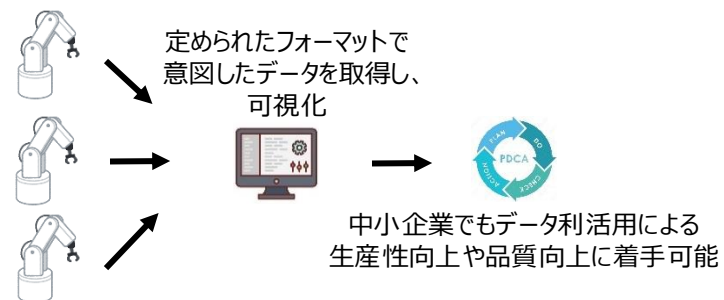
- 食品製造現場における生産設備の**データ仕様・制御プログラム**は**機械メーカー**により各社各様。
- その結果、食品企業は各設備の**データ仕様・プログラム**への個別対応が求められ、**データ収集・活用に係るコスト・労力が増大**。

コンソーシアムでの主な取組

- 食品製造業と食品関連機械製造業間の合意形成を図り、生産設備のデータに関する**業界標準規格**を策定。
- 標準規格による**データ利活用の検証**を進めつつ、ガイドブックを作成し、**業界全体への普及**を促進。

目指す姿

- **安価に専門的知識がなくても**生産性向上や品質向上への着手が可能に。
- 予防保全・品質管理・稼働率の向上など、製造プロセスの高度化につなげることで、**食品業界全体のDX推進や競争力強化**にも貢献。



【参画企業・団体】

味の素株式会社、味の素食品株式会社、カルビー株式会社、サントリーホールディングス株式会社、ハウス食品株式会社、株式会社明治、一般社団法人日本包装機械工業会、アビームコンサルティング株式会社（事務局）



4-7. 省力化技術導入支援事業

【令和7年度補正予算額 140百万円】

- 食品製造事業者による省力化のモデルとなる取組に対して新技術（AI・ロボット等を活用した機械設備）の導入を支援します。

事業内容

業界における省力化のモデルとなる
新技術の導入経費を補助



食品製造事業者

新技術を導入し
省力化を実現



「省力化実行計画」に基づき、
取組の成果を横展開

補助の概要

補助対象者	省力化をモデルとして取り組む (省力化実行計画を策定) 食品製造事業者 (※) [中堅・中小企業に限る]
補助対象経費	以下の条件を満たす機械設備 ・生産効率 対前年比3%/年 以上 ・販売後4年未満
補助上限	4,000万円
補助率	1/2 以内
補助要件	・「省力化実行計画」を確実に実行すること ・食品企業生産性向上フォーラムの会員となり、モデルの横展開に協力すること
事業の流れ	国 $\xrightarrow{1/2以内}$ 食品製造事業者
公募期間	令和7年12月16日(火) ～令和8年1月15日(木)

対象となる機械設備のイメージ

- ✓ 最近開発・普及され始めた最新技術
- ✓ 省力化・省人化が図られる最新技術

- ・多層包あん成形機
- ・AI付き製品検品用 X線センサーシステム
- ・自動パン粉付け機
- ・製品自動箱詰め装置
- ・弁当・総菜用盛付ロボット



省力化実行計画とは

省力化の取組をモデル的に横展開していただくため、補助金申請時に作成いただく計画で、その作成が補助要件となります。

(記載項目)

- ◆ 省力化の定量的目標
- ◆ 人材育成に関する事項
- ◆ 外部支援機関との連携に関する事項
- ◆ 横展開に関する事項

(※) 食品の加工・製造を行っている事業者、又はこれらとともに事業を実施しようとする事業者。

注：詳細については、本事業に係る公募要領をご確認ください。

お問い合わせ先

食品製造課 原材料調達・品質管理改善室 省力化推進チーム
TEL : 03-6744-2089 E-mail : kaizen@maff.go.jp

4-8. 新技術導入緊急対策事業（R6補正）の採択結果



1次公募の応募数32社、採択7社、応募総額10億円、交付額1.7億円。採択7社は前工程4社、後工程3社。

順位	企業名	地方	従業員数	日本標準産業分類(細)	導入工程	導入機器	メーカー名	具体的な事業内容	総事業費(税込、円)	交付決定額(税抜、円)
1	(株)上間菓子店	九州	51～100人	その他のパン・菓子製造業	製造加工	ハードキャンディ自動充填製造ライン	YINRICH / (株)なんつね	ハードキャンディ製造工程を全自動化し、省人化と品質安定化	91,333,000	41,515,000
2	(株)ミートクレスト	九州	51～100人	部分肉・冷凍肉製造業	製造加工	畜肉用ダイサー	TREIF / NASCO(株)	最新のカット設備を導入して、需要増の国産牛のキューブカットを増産	60,940,000	26,650,000
3	(株)永楽堂	中部	51～100人	パン製造業	製造加工	パン用ディスクスライサー	GHD Hartman / (株)ジャーマンサービス	業務用バンズを顧客要望に合わせてスライスできる新設備を導入し、増産と品質向上	10,747,000	4,885,000
4	(株)白子	関東	301人以上	海藻加工業	検査	レーザー海苔異物除去装置	ニシハツ産業(株)	乾海苔のレーザー検査・異物除去装置導入による、省人化と増産、高品質化	25,773,000	11,715,000
5	石井食品(株)	関西	301人以上	肉加工品製造業	包装	ミートボール梱包ライン	(株)JRC	ミートボールの梱包工程の自動化による省人化と製造量増加	128,150,000	50,000,000
6	平冷プロマリン(株)	北海道	101～300人	冷凍水産物製造業	包装	①パレオート自動生積み機 ②自動空パン出し機	(株)藤田鉄工所	冷凍魚の包装工程を自動化し、省人化および高付加価値化	41,342,400	18,792,000
7	(株)柳屋本店	中部	101～300人	その他の水産食料品製造業	製造加工	鯉節自動ソフトスライサー	エフ・エム食品機械(有)	鯉節スライサーの更新による生産量増加と省人化、および歩留向上	40,799,000	18,545,000